

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Welhaus			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和8年2月27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和8年2月27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広大な敷地面積を有し、お子さんが自由に走り回ることができ、身体を動かして遊ぶ放課後を過ごすことで御自宅ではゆっくり入眠することができている。	身体をたくさん動かして欲しいと言うニーズに答え、お子さん達が気づいたら身体を動かしているような環境作りを行っている。	怪我や衝突などは職員数の増加に伴い減少傾向にある。やむを得ない面はあるが大きな怪我に繋がらないよう見守りが必要。
2	常に肯定的な関り（プラスのストローク）を心がけ、子どもも保護者もセルフエスティーム（自己肯定感）を高めることができている。	声掛けの仕方、関わり方など「管理」をするのではなく「自立」を意識し日々実施している。	専門的知識の会得、資格の取得。
3	作業療法士、理学療法士による集団療育プログラム、運動療育を専門とする2名の外部講師による運動プログラムを実施。	運動を行う部屋、工作を行う部屋を分け、DCD（発達性協調運動症）へのアプローチできる環境を整備している。	外部講師を招いての保護者との交流、ペアレントトレーニング等を実施する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との交流会の実施。	就労している保護者が多いことを考慮すると土曜日等休日での実施が必要になり、昨今の働き方改革と逆行する要因となる。	令和8年度に実施予定。ニーズは高いため、職員間で検討し業務負担にならない範囲で実施していく。
2	ペアレントトレーニングの実施。	外部講師を活用したペアトレは実施可能。就労している保護者が多いことを考慮すると土曜日等休日での実施が必要になり、昨今の働き方改革と逆行する要因となる。	令和8年度に実施予定。ニーズは高いため、職員間で検討し業務負担にならない範囲で実施していく。
3	外出活動の減少。	今年度に入り、新小学1年生が10名以上加入したため、安全面を考慮し外出活動を多く実施することができなかった。	2026年の春休みは戸外活動を実施予定。お子さんも職員もベースを掴んでいるため、今後は安全に配慮し可能な範囲で実施していく。